

# 平成31年度 市政運営の基本方針

市議会定例会の初日(2月26日)に、白井市長が市政運営の基本方針を、小林教育長が教育施策推進の基本的考え方を表明しました。その概要をお知らせします。



昭島市長 白井伸介

## はじめに

月日が経つのは早いもので、私が市民の皆様の負託を受け市政運営を担わせていただいているから、3年目の春を迎えております。

これまで、皆様の期待と信頼に応えられるよう、吉田松陰が実践した飛耳長目(※1)をモットーに現場主義を貫き、自らの目で課題の本質を見極め、全身全霊を傾けて市政運営に努めてきました。

市制施行65周年の節目となる新年度を迎えるに当たり、また新元号となる新時代の幕開けも念頭に置き、改めて初心に立ち返り、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の例えのように、謙虚さを



の確たる実現に向け、「住んでみたい 住みつけたい 昭島」につながるまちづくりを進進する覚悟です。

## 行財政改革の推進

多種多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の整備と、職員の人材育成に取り組むとともに、さまざまな行政課題に対応できる効率的・効果的な組織体制の確立を目指していきます。また、行財政改革推進プランに位置づけた取り組みを着実に進め、公平・公正な受益者負担にも取り組み、将来にわたり持続可能な自律した行財政運営に努めます。

## ごみ処理

可燃ごみ処理については、熟慮に熟慮を重ね、11万3000余の市民の皆様の立場に立ち、市の将来を見据えたうえで、当面、清掃センターの延命化をもって対応していくこととしました。今後は、これまで以上に、市民の皆様とともにごみ減量の更なる取り組みを加速させなければなりません。引き続きの



今年ラグビーワールドカップ2019が開催されます。市内には、昨年、トップチャレンジャーに属する企業チーム



## 公共施設などの老朽化

人口減少・超高齢社会がもたらす諸課題もじゅうぶん念頭に置きながら、公共施設等個別施設計画を策定し、維持・更新などの費用の平準化を図る中で、施設の集約化・複合化なども視野に入れ、適正な維持・管理に努めます。

## スポーツ

昨年12月には、本市で初となるまちづくり企業サミットを開催しました。これまでも、環境配慮事業者ネットワークをはじめ、多くの官民連携事業を展開してきましたが、これを機に更に連携を推進し、活力ある昭島の構築を目指すとともに、企業間の連携が進むことを期待します。また、大手企業のみでなく、

忘れず、気概をもって、激変する社会経済の変化を的確に捉えつつ、将来を見据えた市政運営に全力で取り組んでいく覚悟です。市議会並びに市民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

## 災害への思い

昨年、各地に被害をもたらした地震や台風、局地的な豪雨、災害級と言われた夏の猛暑など、自然災害の脅威に晒された1年でした。被災地の一刻も早い復興を願うとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。引き続きでざる限りの被災地支援を継続してまいります。本市においても「備えに万全を期す」を基本に、自然災害への対策をしっかりと図ってまいります。

## 平和への思い

戦争を知らない世代がその大半を占め、過去の悲惨な経験が風化されつつある現在、何より

も大切にしなければならぬのは、二度と戦争を起こしてはいけないという人々の思いです。本市では、悲惨な戦争や核兵器の使用が二度とあつてはならないとの思いから、昭和57年に「非核平和都市」を宣言し、平和事業に取り組んできました。私としても世界の恒久平和の実現に向け、地道ながら、平和事業の取り組みを推進し、次世代を担う子どもたちに平和の尊さをしっかりと伝えていきます。一方、我が国を取り巻く安全保障環境は、先行きが不透明な世界情勢とあいまって、厳しい状況が続いております。こうした中、日米安全保障条約に基づき提供・運用されている米軍基地は、我が国の国防政策の基調をなすものと捉えています。しかし、昨年10月にはCV-22オスプレイが横田基地に正式配備され、周辺環境に新たな負担が生じています。引き続き、市民の声を

受け止めながら、騒音や事故の危険性などの諸問題の解決に向け、東京都や周辺市町と連携し対応してまいります。

## 日本の経済状況

リーマンショック、東日本大震災の影響による景気の低迷を乗り越え、回復基調が続く。今後、有効求人倍率の上昇、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな景気回復が続くと期待されていますが、今年10月に予定されている消費税率10%への引き上げに伴い、消費意欲の低迷などが景気に与える影響も懸念されます。引き続き、国の施策展開に注視し、地域経済や市民生活、地方自治運営に与える影響も予測しつつ、市政運営に努めてまいります。

## 国・東京都の予算

国の新年度予算案では、新経済・財政再生計画のもと、歳出改革の取り組みを継続するとしています。全世代型の社会保障制度への転換に向けて、消費税率引き上げ分を活用した幼児教育・保育の無償化、年金生活者支援給付金の支給などの施策を

打ち出しています。また、消費税率引き上げに併せて、低所得・子育て世帯向けプレミアム付き商品券の発行などの施策を打ち出しています。

東京都の新年度予算案では、自立的な都政改革を推進し、無駄の排除徹底、3つのシティ(セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティ)実現のための施策展開、東京2020大会の開催準備を着実に進める予算とし、幼児教育・保育の無償化における多子世帯への支援拡充、公立学校の暑さ対策、受動喫煙防止対策などの施策を打ち出しています。

引き続き、国や東京都の予算が自治体に与える影響について注視してまいります。

## 市政運営に当たっての基本方針

第五次総合基本計画は残り2年となりました。計画の最終年次を見据え、本年度より本格化する次期総合基本計画の策定もじゅうぶん念頭に置きながら、将来都市像「元気都市あきしま」

※1 飛耳長目(※1)は、吉田松陰が実践した飛耳長目(※1)をモットーに現場主義を貫き、自らの目で課題の本質を見極め、全身全霊を傾けて市政運営に努めてきました。

「ウォーターガッシュ」のラグビー場が整備され、活動が始まりました。引き続き、こうした民間企業なども連携し、大会を盛り上げていきます。

また、来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開催されます。聖火リレーが多摩地域を巡る際は、昭島の子どもたちにも、その感動を肌で感じられるよう、また、大会の効果を感じられるよう、また、大会の効果をレガシー(遺産)として継承できるよう、市民の皆様、関係団体、民間企業とも相互に連携し、機運の醸成に努めるとともに、東京都や多摩地域の自治体とも歩調を合わせながら取り組みを進めてまいります。

また、来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開催されます。聖火リレーが多摩地域を巡る際は、昭島の子どもたちにも、その感動を肌で感じられるよう、また、大会の効果を感じられるよう、また、大会の効果をレガシー(遺産)として継承できるよう、市民の皆様、関係団体、民間企業とも相互に連携し、機運の醸成に努めるとともに、東京都や多摩地域の自治体とも歩調を合わせながら取り組みを進めてまいります。

## 財政の見通し

教育福祉総合センター整備などの大規模な建設事業、清掃センターの延命化と、これを確かなものとするための更なるごみの減量化促進、猛暑への対策など、今後の財政需要は更に高まります。歳入面でも、消費税率10%への引き上げや、国の税制改正における税財源の偏在是正措置の影響も視野に入れ、特定財源などの確保に努めます。

## 企業と連携したまちづくり

「入るを量りて出するを制す」(※2)を基本に、歳入歳出のバランスを保ちながら、将来世代に過度な負担を先送りすることのないよう、行財政の健全化と持続可能な市政運営に努め、市職員一丸となって、喫緊の課題にも対応しつつ、まちづくりを加速させていきます。

## 教育に対する基本的な考え方

総合教育会議を通じて、教育

## 予算編成の大綱

これらの基本方針に基づき、31年度予算は、厳しい財政環境や社会経済環境の変化、市民ニーズを捉えつつ、将来にわたる安定財源の確保に努めながら、堅実な施策展開を支える財政基盤の構築を図ったものです。

この結果、一般会計及び特別会計の予算総額は73億7436万3千円となっています。市税では一定の増加が見込ま

※2 収入を計算して、それによって支出を計画すること



れるものの、各種交付金などを  
含めた一般財源は大幅な増加を  
見通せる状況にありません。不  
足財源は基金の取り崩しと市債  
の借入れで補てんしなければ  
ならず、非常に厳しい編成作業  
となりました。

## 主な施策

31年度予算における主な施策  
について、総合基本計画の施策  
体系に沿って申し上げます。

### 心ゆきかうあきしま 明るい地域社会の形成

自助・共助・公助、それぞれ  
の役割分担に応じた地域防災力  
の向上を図り、災害に強いまち  
づくりを目指します。併せて、  
地域公共交通のあり方を検討・  
検証するとともに、交通安全対  
策や防火・防犯対策に努め、安  
全・安心な明るい地域社会の形  
成を図ります。



また、男女共同参画社会の美

現に向け、男女共同参画都市宣  
言の趣旨に則つた次期男女共同  
参画プランの策定に着手しま  
す。市職員については、これま  
でも女性の登用を進めてしまし  
たが、引き続き、女性が活躍で  
きる職場環境の構築に向けて、  
その取り組みを推進し、地域企  
業などの手本となるよう努めて  
いきます。

### ともに支え合うあきしま 健康と福祉の充実

「人は生まれながらに平等で  
ある」を旨に、市民の誰もが尊厳  
をもって健康でいきいきと暮ら  
していけるよう、各福祉サービ  
スの充実を図ります。

また、増加する保育需要に対  
応するため、園舎の改築・改修  
などを計画的に実施し定員枠の  
拡大を図るとともに、入園が保  
留になつている場合の受け入れ  
先として定期利用保育を導入す  
るなど、待機児童の解消に向け



て取り組みます。  
国が進めている幼児教育・保  
育の無償化についても、対応し  
ていきます。

今年度は健康増進法の改正、東  
京都受動喫煙防止条例の施行が  
予定されています。これらに基  
づく受動喫煙対策として、各公  
共施設などでも適切な対応を図  
るほか、喫煙率の低減を図り、  
市民の健康増進を支援します。  
市民生活になくはならない  
制度である国民健康保険、介護  
保険、後期高齢者医療について  
は、市民生活への影響と財政運  
営の状況に最大限注視し、安定  
的な制度運営に努めます。

### 未来を育むあきしま 教育・文化・スポーツの充実

今年9月に執り行われる拜島  
日吉神社例大祭で本来の屋台人  
形を立てての奉えいを披露でき  
るよう、環境整備を進め、歴史  
的文化資産を将来に引き継いで  
いきます。

また、大理石彫刻家 武藤順九  
さんの作品を配した昭島・昭和  
の森 武藤順九彫刻園の開園に  
当たり、管理・運営を支援する  
ことで、誰もが芸術作品を身近  
に鑑賞できる機会を提供し、潤

いや安らぎを感じられる文化・  
芸術施策の推進を図ります。

### 環境をつなぐあきしま 循環型社会の形成

本市の恵まれた水や緑の環境  
を将来世代へ引き継いでいくた  
め、多摩川由来の崖線に連続す  
る緑地や昭和用水路などの保全  
に努めます。

そして、安全・安心かつ利便  
性に富んだ都市基盤と、水や緑  
が調和したまちづくりを進め、  
住宅都市としての魅力を高めて  
いきます。

併せて、新たな環境基本計画  
の策定に着手し、次世代に引き  
継ぐことのできる地球環境の保  
全に向けた取り組みを推進して  
いきます。

可燃ごみ処理については、将  
来を見据えた財源の積み立てを  
行う中で、清掃センターの延命  
化を図りながら、更なるごみの  
減量化・資源化促進へ向け、啓  
発事業の拡充や、古紙(はがき  
など)の拠点回収など、新たな  
事業を展開するとともに、引き  
続き、食品ロス(※3)削減のため  
の3010運動(※4)の徹底  
や、プラスチック系ごみの収集  
回数増加を図ります。

### 基盤を築くあきしま 快適な都市空間の整備

自然災害に強い都市基盤の整  
備に加え、ユニバーサルデザイ  
ン(※5)や景観などにも配慮し  
た、潤いとゆとりのある道路空  
間の確保と、都市基盤の整備を  
図ります。

下水道事業については、下水  
道総合計画に基づく施策の推進  
と施設の長寿命化に努め、浸水  
のない安心して暮らせるまちづ  
くりを目指します。

中神土地区画整理事業につい  
ては、第二工区駅前ブロックの  
早期完了と、北・西ブロックの  
事業用地取得に努めます。

立川基地跡地昭島地区の開発  
については、国営昭和記念公園  
の緑を活用し、本市の東の玄関  
口にふさわしい、活気ににぎわ  
いのあるまちづくりが図られる  
よう、国や関係機関、民間事業

※3 Ⅱまだ食べられる食品を捨てる  
こと

※4 Ⅱ宴会や食会等の開始から30分  
間と終了後10分間は、席に着  
いて料理を楽しく取り組み

※5 Ⅱ障害の有無や年齢、性別、人  
種などにかかわらず、たぐさ  
んの人々が利用しやすいよう  
に製品やサービス、環境をデ  
ザインする考え方

者などと協議・調整していきま  
す。

東中神駅南口では、東中神団  
地の建て替えが計画されている  
ことから、駅の南北が一体と  
なつたまちづくりが進められる  
よう、市民の皆様の声を受け止  
めながら必要となる協議をして  
いきます。

社会問題ともなつている空き  
家への対応についても、国の動  
向に注視し、関係機関と連携し  
て取り組んでいきます。

### 躍動するあきしま 産業の活性化

引き続き、「安全でおいしい深  
層地下水100%の水道水」の周知  
のため、「あきしまの水ブランド  
構築・推進事業」を市内事業者な  
どと連携して展開するほか、市  
内での創業希望者へ支援を行う  
など、総合戦略や産業振興計画  
に基づき施策を推進します。

加えて、産業の活性化に資す  
る、多摩大学との連携事業に取  
り組むことで、人が訪れるまち  
づくりを進めます。

消費者行政については、引き  
続き、消費生活相談体制の充実  
を図るとともに、安全で安心な  
消費生活のため啓発活動などを

推進します。

このほか、リニューアルした  
「昭島市民くじら祭パレード」の  
大くじら号を各種イベントで  
活用するなど、アキシマワジラ  
で再度あきしまを盛り上げてい  
きます。



なお、公認ゆるキャラについ  
ては、市制施行65周年を記念し、  
「水道部キャラクター ちかっ  
ぱー」の人気の高まりを踏まえ  
て検討するとともに、更なる市  
のPRにも努めていきます。

### 水道事業

市民と市の宝である深層地下  
水100%の安全でおいしい水道水  
を将来にわたって安定供給して  
いくことを基本に、引き続き、  
第二次水道事業基本計画に基づ  
く施策の推進と、経営基盤の強  
化に取り組めます。

併せて、水源井や配水場の適

切な維持管理、配水管路の耐震  
化など、災害に強い水道施設の  
構築を目指します。

また、水源地の究明に資する、  
深層地下水の流動調査を開始し  
ます。

### おわりに

人口減少・超高齢社会にあつ  
ては、自治体経営を取り巻く環  
境も、今後、更に目まぐるしく変  
化するものと認識しています。  
また、本市が抱える課題も山積  
しており、引き続き厳しい財政  
環境が予測されます。

進化論で名高いダーウィンの  
言葉に「最も強い者が生き残る  
のではなく、最も賢い者が生き  
延びるのでもない。唯一生き残  
ることができるのは変化できる  
者である」とあるように、社会経  
済状況などの変化を的確に捉え  
つつ、常に市民の皆様の立場に  
立つて判断をし、公平公正な市  
政運営を貫き、次世代に引き継  
ぐことのできる「元氣都市あき  
しま」の実現に向けて、いっそう  
努力してまいります。

皆様のご理解とご協力を心よ  
りお願い申し上げます。



人口減少・超高齢社会の到来、  
予測を超える情報化・グローバ  
ル化の進展、社会的孤立や地域  
でのつながりの希薄化など、目  
まぐるしい変化の中で、学校教  
育・生涯学習の意義や役割も変  
化しています。これらを的確に  
捉え、教育施策を推進してい  
かなければなりません。

こうした認識のもと、第2次  
教育振興基本計画に基づき、教  
育施策を推進してまいります。

### 学校教育

昭島の未来を担う子どもたち  
が自立したより良い人生と社会  
を築いていけるよう、自ら学び  
行動する力と、社会に主体的に  
貢献する力を育み、心身ともに  
健全・健康で、知・徳・体の調  
和のとれた、何事にも感謝する  
心を持つ「たくましい昭島っ  
子」の育成に努めます。

### 確かな学力の定着

中学校1校で、授業力向上ア  
ドバイザー事業として大学教授  
などによる授業観察を行い、教  
員の指導力向上を目指します。  
来年度以降に本格実施される  
新学習指導要領に対応するた  
め、外国語教育の充実、ICT  
(情報通信技術)環境の整備など  
を基盤とした「主体的・対話的  
で深い学び」のための授業改善に  
取り組みます。

### 個に応じた支援の充実

教育福祉総合センターへ移転  
予定の教育相談室や適応指導教  
室などが、円滑に業務を進めら  
れるよう、着実に準備します。

また、自閉症・情緒障害固定学  
級を富士見丘小に開設します。

### 人権教育の推進・道徳教育 の充実

児童・生徒の豊かな心の醸成  
のため、体験活動の充実や、中  
学校で教科化される道徳教育な  
どに全力で取り組みます。

### 体育館における熱中症対策

猛暑から児童・生徒を守るた

次ページへ続きます。



# 平成31年度予算決まる (2019年4月～2020年3月)

一般会計予算 466億2200万円 ～元気都市あきしまの実現を目指して～

## 平成31年度予算の概要

一般会計と各特別会計、公営企業会計である水道事業会計の予算額は、表1・表2のとおりです。

一般会計予算の総額は466億2200万円で、前年度と比べて40億2200万円(9.4%)増加しました。歳入・歳出の内訳は下のとおりです。

歳入では、固定資産税、法人市民税の増加などにより、市税の増加を見込んでいます。また、国庫支出金についても、普通建設事業費(公共施設などの建設費)の増加などにより、前年度を上回りました。

歳出では、私立保育所運営費などの扶助費、教育福祉総合センターなどの普通建設事業費の増加などにより、前年度を上回りました。

☆詳しくは、財政係へ。

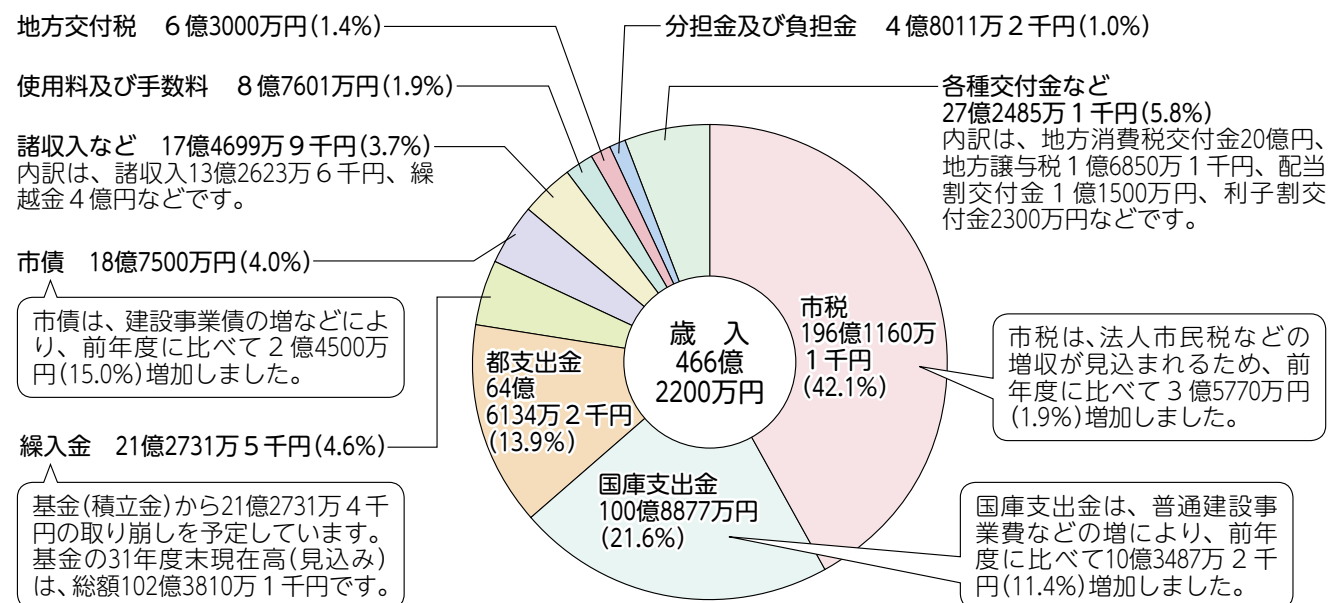
表1 31年度一般会計・特別会計予算額

会計名	当初予算額(前年度比)
一般会計	466億2200万0千円(9.4%増)
国民健康保険	116億2200万0千円(0.5%増)
介護保険	90億3963万2千円(2.1%増)
後期高齢者医療	24億3499万3千円(4.8%増)
下水道事業	29億7373万5千円(0.4%増)
中神土地区画整理事業	3億8200万3千円(2.1%減)
小計	264億5236万3千円(1.4%増)
合計	730億7436万3千円(6.4%増)

表2 31年度水道事業会計予算額

区分	当初予算額(前年度比)	
	収入	支出
収益的収入・支出	19億3519万0千円(0.0%減)	15億2247万0千円(1.7%減)
資本的収入・支出	1598万3千円(65.3%減)	13億5981万7千円(17.4%増)

## 歳入 ～市税や国庫支出金などは増加、分担金及び負担金などは減少～

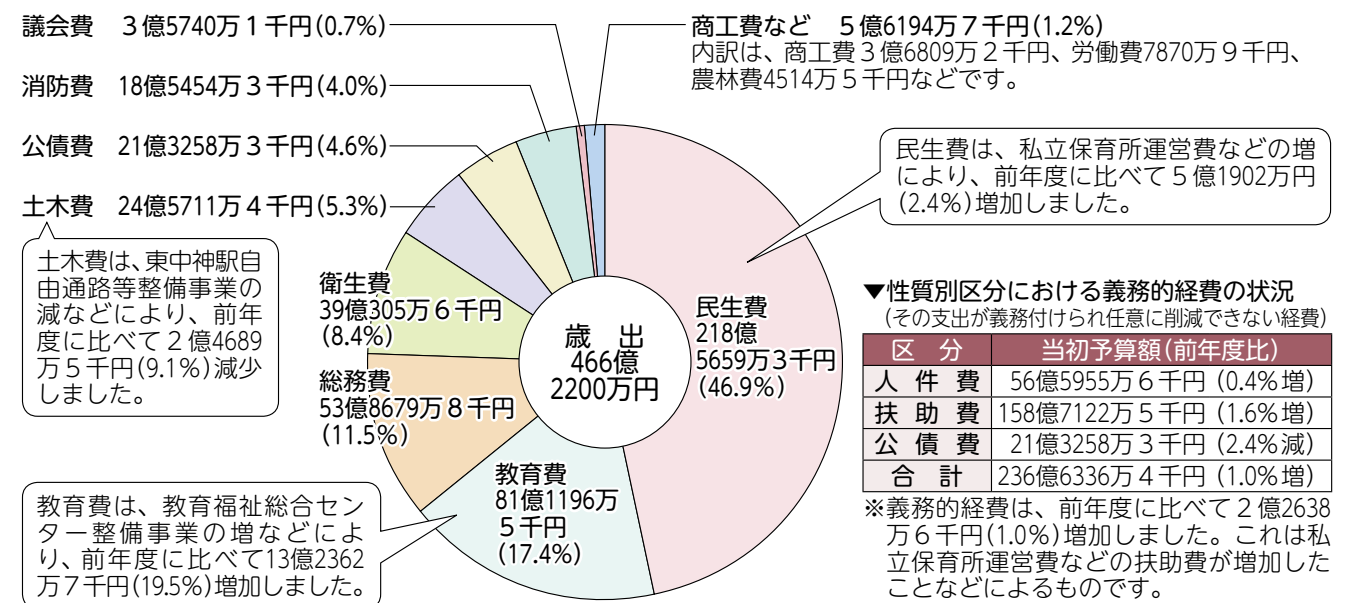


### 歳入額を市民一人あたりに換算すると… 41万1801円

項目	金額
市税 市民税、固定資産税・都市計画税などの税金	17万3224円
国庫支出金・都支出金 特定の事業のために国や都から支出されるお金	14万6183円
市債 市が建設事業を行うために国・都・銀行などから長期にわたり借り入れるお金	1万6561円
使用料及び手数料 自転車等駐車場など市の施設の使用料、住民票や税証明書などの発行手数料	7738円
その他 6万8095円	6万8095円

※31年1月1日現在の人口11万3215人をもとに算出しました。

## 歳出 ～扶助費や普通建設事業費などは増加、公債費などは減少～



### 歳出額を市民一人あたりに換算すると… 41万1801円

項目	金額
民生費 障害者や高齢者に対する社会福祉、児童福祉、生活保護などの費用	19万3054円
教育費 小・中学校教育、社会教育、市民会館・公民館活動などの費用	7万1651円
土木費 道路の新設・維持管理、公園の維持管理などの費用	2万1703円
公債費 市債(市が借り入れたお金)の返済のための費用	1万8837円
衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用	3万4475円
総務費 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、戸籍、住民登録などの費用	4万7580円
消防費 消防活動、災害対策などの費用	1万6381円
その他 市議会運営、労働、農業、商工振興、観光などの費用	8120円

※31年1月1日現在の人口11万3215人をもとに算出しました。

め、小・中学校の体育館に空調機器を設置します。設置までは、スポーツエアコンや大型扇風機などを活用して対応します。

**教員の働き方改革**  
教員が全力で教育にあたることのできるよう、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置を拡充するほか、学校閉庁日を設定するなど、引き続き学校と連携して取り組みます。

**学校給食共同調理場更新の検討**  
公共施設等個別施設計画の策定も視野に入れ、具体的な検討を進めます。

**生涯学習**  
市民の学びを支援し、地域の課題解決に資するとともに、人と人をつなぐ施設を目指します。

**教育福祉総合センター**  
本センターに設置する市民図書館においては、蔵書を40万冊に増やし、約300席の閲覧席や講習研修室、グループ学習室などを備えます。また、本センター

**スポーツ**  
国際的なスポーツの祭典が相次いで予定される中、市民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しむための環境づくりと機会の提供に努めます。また、総合スポーツセンターやみほり体育館においても、熱中症対策として、冷風機を設置していきます。

全体の運営には指定管理者制度を導入します。これに先駆けて、現在の市民図書館でも今年4月から指定管理者による運営を開始し、本センターの開館に向けて万全の準備をしていきます。

また、本センターに設置する郷土資料室では、市が誇る文化財を、ICTを活用した映像で鑑賞できるよう整備を進めます。